

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 7 月 27 日 (18:00~19:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

氏名 濱野(京)、松下、家永、本川  
矢幡、梶原、重松、濱野(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	6人	9人	2人	人	17人

前回の改善計画	初期支援者の気づいた事を各職員がサブリーダーに伝え、介護記録に記入し申し送りで伝え情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	初期支援者には利用開始以前に体験利用して頂き、気づいた事等、介護記録に記入し申し送りを行い、職員会議、ミーティング等で利用開始前より情報の共有を行った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	7	1		17(1)
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6	11			17
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	7	10			17
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	9	2		17

できている点	初期利用者の利用開始以前に体験利用をして頂き、馴染める様、気の合う利用者の席の近くに配慮し、興味のあることを会話の中で収集し、気づいた事や様子等細かく伝え、家族の思いと職員の思いが重なり、本人を支えるための協力が築ける事が多くなっている。初期支援時、職員会議・ミーティング等の中で生活歴から家族構成・支援内容の共有ができ、本人のペースご家族のペースで支援調整が出来ている。
--------	--

できていない点	初期に関わらず、本人や家族の思いが自分で聞き出せず、初期支援者の入浴の様子等自分なりの把握はできづらい事があった。又、勤務体制等で家族との関りが少なかったり、初期支援に関われない事があった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	初期利用者の気づいた事を介護記録に記入し、10日分の記録用紙をコピーし、各自確認を行った者の押印をする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 7 月 27 日 (18:00～19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

氏名 濱野(京)、松下、家永、本川  
矢幡、梶原、重松、濱野(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	14 人	1 人	人	2 人	17 人

前回の改善計画
誕生月の方の好きな食べ物・食べたい物を聞き、メニューに取り入れ、昼食やおやつ等利用し、提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果
誕生月の方に好きな食べ物・食べたい物を尋ね、誕生月にメニューに取り入れたり、おやつとして提供する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」が	2	10	4	1	17
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	8	4	1	17
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	8	5	1	17
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	6	2	17

できている点
誕生月に利用者本人、ご家族の方に好きな物・食べたい物を聞きメニューに取り入れている。利用者との会話の中で「～したい」を聞き出す様に努めている。又、個人ファイルを確認し、日々の関わりの中でご本人様の「～したい」に気づくよう務めている。

できていない点
ご本人様、ご家族に好きな物を確認する時に、メニューと言うよりも食材を言われる事があり、メニュー等迷う事があった。日々の関わりの中で記録を優先してしまう事があり、ご利用者の方の「～したい」に寄り添っていない事があった。又、ご本人様の「～したい」の把握が難しい方もある。

次回までの具体的な改善計画
継続して、誕生月の方の好きな物・食べたい物を聞き、昼食やおやつとして提供する際、利用者の方と一緒に作る事を取り入れ、「食」を楽しんで頂く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 7 月 27 日 (18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

氏名 濱野(京)、松下、家永、本川  
矢幡、梶原、重松、濱野(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	4人	5人	7人	人	17(1)人

前回の改善計画	毎月1名利用者を提示し、日々の支援の中で聞き取り、以前の暮らし方ノートに記入する。
前回の改善計画に対する取組み結果	毎月1名の利用者を職員会議で伝え掲示し、日々の関わりの中で聞き取り、以前の暮らし方ノートに記入する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		6	8	2	17(1)
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	11	1		17
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	8	1	17
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	9	8			17
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	9	8			17

できている点	体調の変化等は朝のバイタル測定、入浴時、トイレ介助時等で変化に気づく事ができ、その都度共有している。意思表示の出来ない方にも心配りし支援を行っている。毎月2名の方のケース記録を読み、足りない時はその都度会話の中で補っている。利用者の方に合わせた食事形態、入浴、排泄介助が行われている。本人の気持ちや体調変化に気づける様、声掛けをする様にしている。
--------	---

できていない点	以前の暮らし方は、2・3個まではすぐ出来るが、10個以上になると出来にくい事があった。入浴拒否される方を無理には入浴できない。入浴や排泄の声かけが上手に出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	継続して毎月1名利用者を掲示し、日々の支援の中で聞き取り、以前の暮らし方ノートに記入する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年8月24日(18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

氏名 濱野(京)、松下、荒木、佐藤  
用松、梶原、本川、重松、濱野(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	4人	1人	17人

前回の改善計画
今回もケアマネよりミーティング時に地域資源の情報共有をしてもらい、資源把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
毎月ミーティング時に利用者1名の方の家での過ごし方をケアマネより情報を受け、民生委員の方の名前を伝えてもらっている。民生委員の方を知る事から地域資源の共有に努めた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	10	4		17
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	8	6		17
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	8	7		17
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	5	7	3	17

できている点
毎月ミーティング時に1名の利用者の方について、自宅での暮らし方、家族構成、以前の暮らし方、民生委員の方等の説明を受け情報共有している。その他、毎月2名の方のファイルを閲覧し、訪問時会話等で地域との関わりを知る事が出来ている。利用以前のかかりつけの病院、美容室等継続して頂いている。独居の方は、民生委員、地域住民と情報交換し在宅支援を行っている。

できていない点
利用者の方によっては、近所の付き合いもなく民生委員さんとも関わりの少ない方がいる。又、利用日以外の過ごし方の把握にバラつきがある。事業所を利用している事が多い利用者の方がおられる。

次回までの具体的な改善計画
毎月ミーティング時、利用者1名についてケアマネより自宅での過ごし方の説明を受け、資源把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 8 月 24 日 (18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名 濱野(京)、松下、荒木、佐藤、本川  
用松、梶原、重松、濱野(優)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	9人	5人	3人		17人

前回の改善計画
通い利用時、利用者の変化に気づき家族へ連絡する際、自宅での様子を伺い家族と共に検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果
通い利用時、バイタル測定を行い、変化があれば家族へ連絡しその後の対応を話し合い「宿泊」利用や「訪問」への柔軟な対応を行う事が出来た。家族と自宅での状況等を聞き支援に活かす事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	11	3	1	17
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	12	4		1	17
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	8	9			17
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	9			17

できている点
来所後、バイタル測定後、利用者の状態の確認を行い、変化があればケアマネ、家族へ報告し、その後の対応を話し合う事が出来た。利用者家族の急な要望に対し、又、利用者の状況に応じて「通い」「訪問」「宿泊」等柔軟な対応を行っている。家族の介護力に応じて柔軟に対応し、日々の気づきは申し送りにて情報共有出来た。

できていない点
1人暮らしの方や高齢者世帯の自宅での様子がわかりにくい。利用者一人一人の尊重は出来ているが、バラつきがあり、出来ない利用者の方もあった。又、ご家族によっては支援の協力が難しいご家族もおられた。地域の資源を使えないご利用者もおられた。

次回までの具体的な改善計画
独り暮らしや高齢者世帯の家族より、利用者の自宅での様子を伺い、地域資源を使っての支援に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 8 月 24 日 (18:00~19:00)

6. 連携・協働

氏名 濱野(京)、松下、荒木、梶原、佐藤  
用松、重松、濱野(優)、本川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10人	6人	1人		17人

**前回の改善計画**  
 継続して運営推進会議やスクールガードの参加を行い、会議に参加出来なかった職員は、会議資料を1名ずつ回覧し押印する。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 月に1度、スクールガードには利用者の方と一緒に見守りを行う事が出来、小学生とあいさつを交わす事ができた。運営推進会議に参加できなかった職員は閲覧し、押印を行う事ができた。回覧は残り1~2名の時に行った。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	4	4	3	17(3)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	2	3	6	17(3)
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	3	6	4	3	17(1)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	6	6	1	4	17

**できている点**  
 保育園、小学校との交流やボランティアの受け入れを行っている。日田市内の連絡会があり、会議に参加している。スクールガードの参加、地域の防災訓練にも参加を行い、地域住民との交流も行っている。

**できていない点**  
 市内の連絡会の会議に管理者、ケアマネの参加しか出来ていない。地域の一員としての交流はしているが、日常的というレベルではない。

**次回までの具体的な改善計画**  
 継続して運営推進会議やスクールガードの参加を行い、会議に参加できなかった職員は、会議資料を閲覧し押印する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 9 月 23 日 (18:00~19:00)

7. 運営

氏名 濱野(京)、松下、荒木、梶原、佐藤  
佐竹、重松、濱野(優)、庭野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	6人	2人	2人	17 (2) 人

前回の改善計画	地域との協働した取り組みが難しい為、継続して地域のゴミ拾いを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティング前に地域のゴミ拾いを4月と10月に行った。4月はタバコの吸殻が多くみられたが、10月はお菓子のゴミの空袋等もみられた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	4	5	5	2	17 (1)
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	11	1		17 (1)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	11	1	1	17 (1)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	8	2	17 (2)

できている点	ミーティング前の掃除に参加し、年2回の地域のゴミ拾いに参加出来ている。家族や利用者の苦情は迅速に対応できていると思う。地域に出向き公民館での介護者教室を行っている。千年あかり等の行事、豆田地域の防災訓練に参加している。
--------	---

できていない点	管理者、ケアマネ以外の職員は地域の方との接点が少ない。地域からの苦情は施設へあがってくる事が少ないと思う。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	運営推進会議を通じて、災害時、事業所としての役割や地域との協働のマニュアルを作成する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 9 月 23 日 (18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

氏名 濱野(京)、松下、荒木、小野、梶原  
佐藤、重松、濱野(優)、佐竹、庭野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7人	6人	3人	1人	17人

前回の改善計画  
施設内外の研修参加後は研修報告及び資料をつけて閲覧し、個々のスキルアップを目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果  
市内連絡会主催の研修等の参加後は、職員が交代で研修報告書を作成し、資料をつけて閲覧する事ができた。研修内容についての意見や感想を聞く事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	8	1	2	17 (1)
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	6	2	17
③ 地域連絡会に参加していますか	3	2	7	5	17
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	6	5	1	17

できている点  
研修に参加する様に指示されている分は参加出来ている。  
資格取得の研修は参加できるように行っている。個々の立場、経験に沿った研修計画を作成し、人材育成に取り組んでいる。

できていない点  
研修に参加した事が活かされているのかの確認、研修成果がどのような支援に繋がって利用者の方に反映しているのか不明。個々でのスキルアップ研修参加が少ない。自分自身の知識としてとどまっているにすぎない。

次回までの具体的な改善計画  
年間計画を立てて、他の小規模多機能事業所へ交換研修を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 9 月 23 日 (18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

氏名 濱野(京)、松下、荒木、小野、梶原  
佐藤、佐竹、濱野(優)、重松、庭野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	6人	1人	17人

前回の改善計画	必要時に、落ち着かない利用者に対しての対応を話し合い、実行し翌月に振り返る。
前回の改善計画に対する取組み結果	落ち着かない利用者に対しての対応をその都度行っているが、話し合いを行うまでの方はおられなかった。一緒に散歩をしたり、掃除をしたり出来る事をして頂いていた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	12	4	1		17
② 虐待は行われていない	11	5	1		17
③ プライバシーが守られている	8	9			17
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3	10		3	17 (1)
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	11	6			17

できている点	落ち着かない利用者の方にドライブへ外出したり、散歩等で気分転換をして頂いている。利用者の方が自由にできるよう見守りを行っている。身体拘束研修、虐待研修は参加出来ている。後見人制度が必要な方には、ケアマネより話をしている。利用者の方が自己決定出来るよう様声掛けに努めている。利用者のプライバシー、人権に心がけケアを行っている。
--------	--

できていない点	成年後見制度に直接関わる事がない。利用者本位で考え動く事が出来ず、業務の流れに合わせてしまう事があった。帰宅願望の強い利用者の方に言葉で抑制してしまう事があった。又、外へ出ない様カギをかける事があった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	成年後見制度の研修を年数回行う。
---------------	------------------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 光薫福祉会	代表者	小林 正信	法人・ 事業所 の特徴	ご利用者の方が、住み慣れた地域で安心して生活が送れる様、一人一人の生活スタイルに合わせた「通い」・「訪問」・「宿泊」を柔軟に対応し、これからも自宅での生活が継続出来る様可能な限りの支援を行い、ご家族の介護負担や精神的な負担の軽減を考慮し、医療連携、地域の連携に努め、一日でも長く自宅と一緒に生活出来る様支援させて頂きます。
事業所名	ビバーラ豆田	管理者	瀧野 京子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評の 確認	研修の報告書の閲覧を行い、ミーティング時に研修後の取り組みを職員間で話し合う様、議題に入れる。	前年度は、コロナ禍の為施設外研修を設ける事が出来ず、事業所内研修になった。	よく取り組んでいると思います。具体的ところが、わからなかった。	今年度は、施設外研修が実施出来なかつたので、次年度も施設外研修後ミーティングにて、施設の取り組みを話し合える様、議題に入れる。
B. 事業所の しつらえ・環境	駐輪場の掲示を行い、再度、グリーンカーテンから収穫へと繋げる。	今年度も、グリーンカーテンの取り組みをグリーンヤりに行ったが、場所と、日当たりの考慮が足りず、収穫まで至らなかった。駐輪場の掲示は行った。	今年度は、グリーンヤりは出来にくかつた。鉢が浅いと駄目。施設の入りの所が、草が長くなつていました。	職員会議前の施設外の清掃を行う際、草の長くなつていている所から行う様に気を付ける。
C. 事業所と地域の かかわり	介護者教室の開催日、内容を事業所広報誌に掲載する。介護者教室スクールガード、地域の清掃も継続して行う。	今年度は、介護者教室が中止になったが、スクールガードは利用者と一緒にを行う事が出来た。4月、10月に地域の清掃活動は行った。ゴミは少なかった。	河川の土手の方には、ゴミが多い。職員も利用者も明るくあいさつをしてくれる。	介護者教室の開催日、内容を事業所広報誌に掲載する。介護者教室、スクールガードは継続し、地域の清掃活動は、河川の土手の方を行う。
D. 地域に向いて 本人の暮らしを 支える取組み	地域包括職員と連携し、ご近所の方へ心配な方への情報共有に努め、事業所を会議の場所として、提供する。	地域包括職員との連携は行っており、利用者の方の情報交換や情報の共有に努め、必要時には会議場として部屋を提供。	今年度は、行事の中止でなにも出来なかつた。	次年度も必要時に地域包括、行政に会議の場所提供を行う。又、竹灯籠まつりの竹飾りに利用者と参加する。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	継続し運営推進会議にて、小規模多機能型のサービス内容を事例として報告し、理解を深めて頂く。	運営推進会議の中で、利用者のサービス内容の事例報告を行い、事業所の理解を深めて頂いた。	事例の報告は、解り易く改善もみられたので、良かったと思う。	次年度も運営推進会議にて、小規模多機能型のサービス内容を事例として報告し、理解を深めて頂く。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>継続して、災害時の取り組みについて、運営推進会議の議題に取り入れ、話し合いを行う。</p>	<p>運営推進会議を利用し、防災の話は出来た。事業所として夜間使用していないフロアへの提供の話は行う事が出来た。</p>	<p>豆田地区の防災訓練は、毎年1月26日に行っている。</p>	<p>運営推進会議にて、災害マニュアルを説明し、地域と事業所でお互いに協力出来る内容を協議する。</p>
----------------------------	--	--	----------------------------------	--